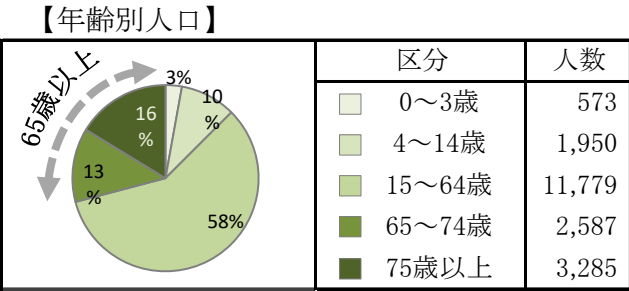


1. 基本情報

人口 20,174人
0~14歳 2,523人 / 13% (12.2%)
15~64歳 11,779人 / 58% (57.8%)
65歳以上 5,872人 / 29% (30.0%)
昼夜間人口比 86% (102%)
1人世帯率 20% (27%)

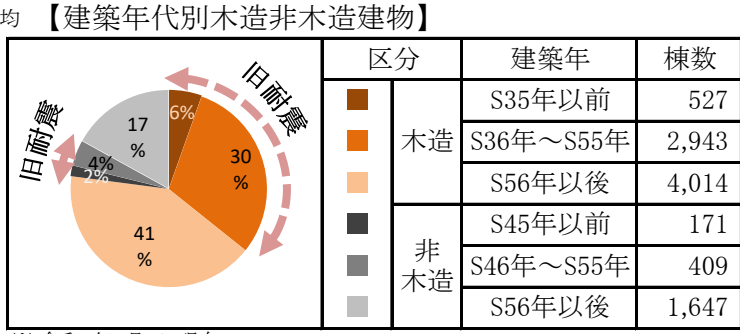


世帯数 8,518 世帯
1世帯あたり人口 2.37人/世帯 (2.29人/世帯)

面積 12.68km²
人口密度 1,591人/km² (445.7人/km²)

総建物数 9,711棟
旧耐震基準建物 4,050棟
新耐震年代の割合 58% (47%)

◇位置



【町丁目・大字】
檀田、檀田一丁目、檀田二丁目、徳間、徳間一丁目、若槻団地、若槻東条、上野一丁目、上野二丁目、上野三丁目、田中、田子、吉、若槻西条、稲田一丁目、稲田二丁目、稲田三丁目、稲田四丁目

2. 地域の取り組み

Large empty box for regional initiatives.

3. 防災関連施設

防災関連施設一覧表
◇災害対策本部(支所) 若槻支所
◇防災備蓄倉庫 昭和の森公園防災倉庫, 若槻支所, 若槻分署, 徳間小学校, 若槻小学校
◇要配慮者利用施設 雷鳥保育園, 若槻支所, 若槻分署, 徳間小学校, 若槻小学校
◇水防倉庫等 水防倉庫 1箇所, 消防団詰所 1箇所, 消防団器具置場 6箇所
◇公民館 若槻コミュニティーセンター(若槻公民館)

4. 避難所・避難場所

Table with 7 columns: 施設名, 避難所(屋内)収容人数(人), 避難場所収容人数(人), 適性 (洪水等, 土砂災害, 地震, 大規模な火事), 広域避難場所. Rows include 長野市立長野中学校・高等学校, 長野市立徳間小学校, 長野工業高等専門学校グラウンド, etc.

Empty table with the same structure as the first table, intended for additional shelter data.

※1 避難所の収容人数は一人当たり3㎡、避難場所の収容人数は一人当たり2㎡で算出

5. 孤立集落(地震)

Table for isolated settlements (地震) with columns: 集落名, 想定地震 (長野盆地西縁断層, 糸魚川-静岡断層(全体)).

Table for isolated settlements (地震) with columns: 集落名, 想定地震 (長野盆地西縁断層, 糸魚川-静岡断層(全体)).

Table for isolated settlements (地震) with columns: 集落名, 想定地震 (長野盆地西縁断層, 糸魚川-静岡断層(全体)).

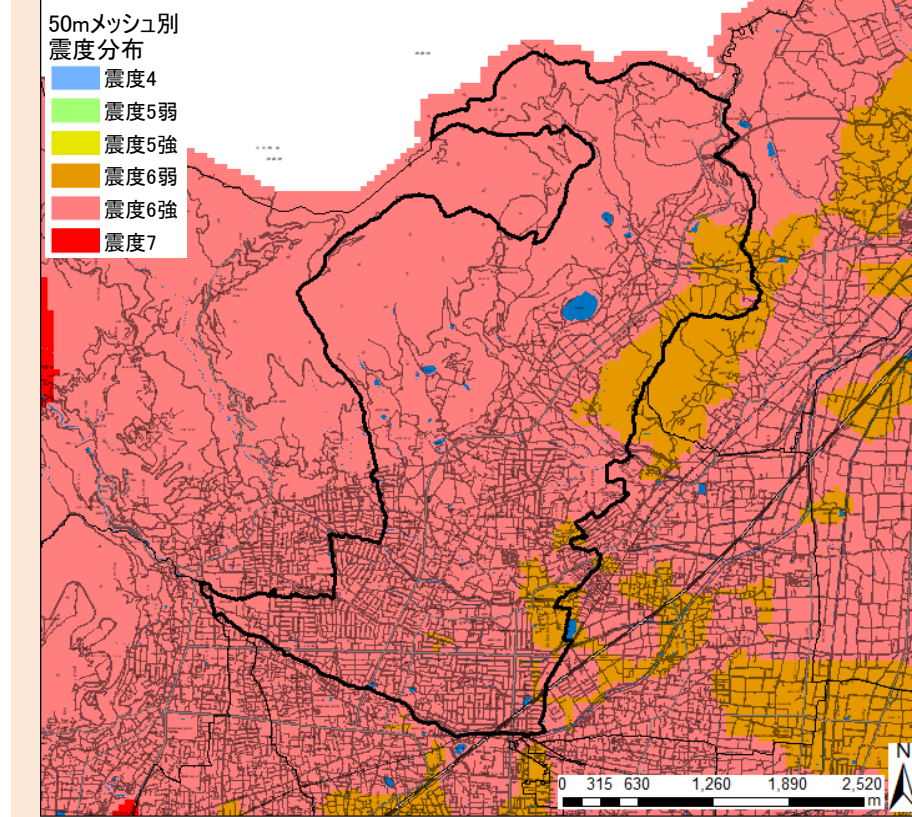
※ ●は地震により孤立する可能性あり

防災アセスメント調査（地震）

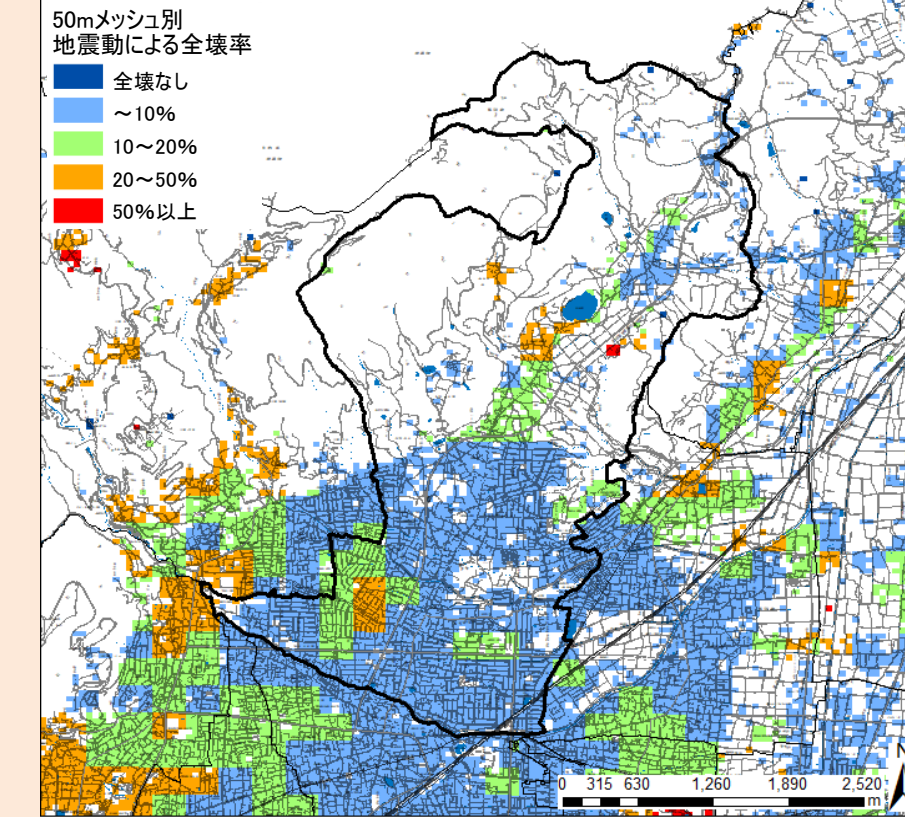
地区名 **若槻**

長野盆地西縁断層

●震度予測図



●地震動による建物被害率(全壊)



●地震被害予測結果

▼地震動

震度	震度6弱～震度6強
----	-----------

▼建物被害

全壊	695棟	7.2%
半壊	1,355棟	13.9%

▼火災被害数(冬の18時の場合)

全出火件数	3件	0.0%
炎上出火件数	1件	0.0%
残出火件数	1件	0.0%
焼失棟数	0棟	0.0%

▼人的被害(冬の18時の場合)

死者	40人	0.2%
負傷者	331人	1.6%
重傷者	123人	0.6%
自力脱出困難者	119人	0.6%
避難者(1日後)	1,809人	9.0%
避難者(2日後)	5,521人	27.4%
避難者(1週間後)	4,469人	22.2%
避難者(1ヶ月後)	4,152人	20.6%

▼ライフライン被害

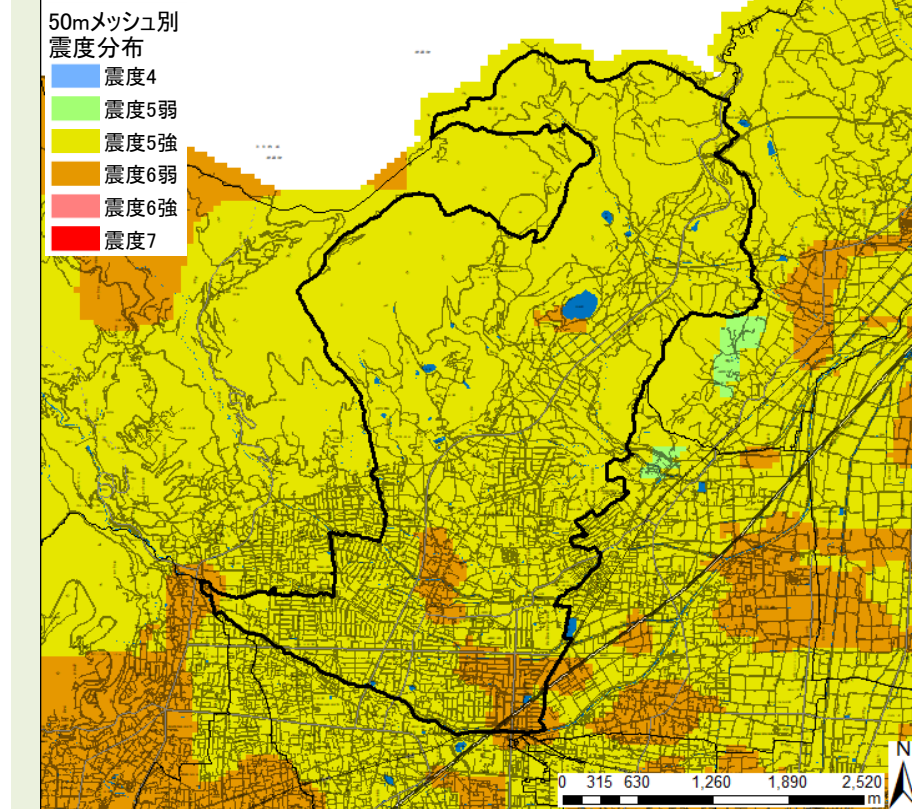
上水道管被害	27箇所	
都市ガス停止戸数(直後)	2,153戸	

▼被害の様子

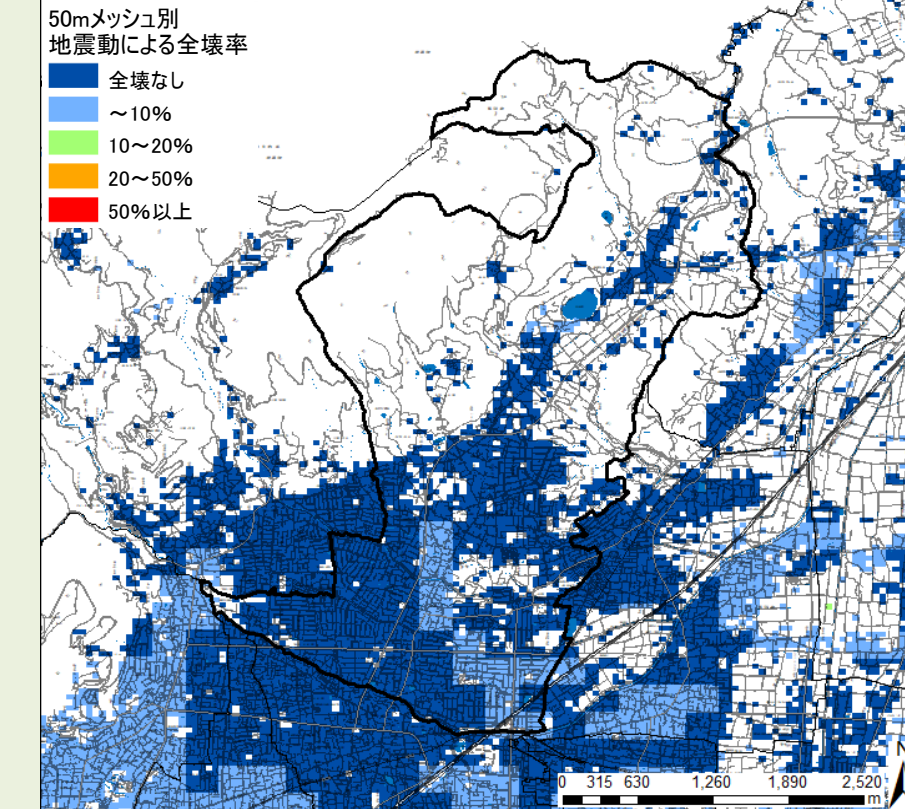
最大震度6強の揺れや土砂災害によって、全壊建物約700棟(全壊率約7%)、40名の死者が予測される。北部の山地では、集落の孤立が予測される。

糸魚川-静岡構造線断層帯(全体)

●震度予測図



●地震動による建物被害率(全壊)



●地震被害予測結果

▼地震動

震度	震度5弱～震度6弱
----	-----------

▼建物被害

全壊	3棟	0.0%
半壊	82棟	0.8%

▼火災被害数(冬の18時の場合)

全出火件数	0件	0.0%
炎上出火件数	0件	0.0%
残出火件数	0件	0.0%
焼失棟数	0棟	0.0%

▼人的被害(冬の18時の場合)

死者	0人	0.0%
負傷者	13人	0.1%
重傷者	0人	0.0%
自力脱出困難者	0人	0.0%
避難者(1日後)	29人	0.1%
避難者(2日後)	1,827人	9.1%
避難者(1週間後)	1,054人	5.2%
避難者(1ヶ月後)	632人	3.1%

▼ライフライン被害

上水道管被害	5箇所	
都市ガス停止戸数(直後)	0戸	

▼被害の様子

最大震度6弱の揺れや土砂災害により、全壊建物3棟(全壊率約0%)、死者は予測されていない。

防災アセスメント調査(水害・土砂災害)

地区名 **若槻**

●水害・土砂災害危険箇所

県建設部所管のその他の土砂災害危険箇所

- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 土石流危険区域
- 土石流危険渓流
- 地すべり危険箇所

土砂災害特別警戒区域

- 急傾斜地
- 土石流

土砂災害警戒区域

- 急傾斜地
- 土石流
- 地すべり

避難所

- 災害の種類により使用不可となる場合がある(様式1-2参照)

防災備蓄倉庫

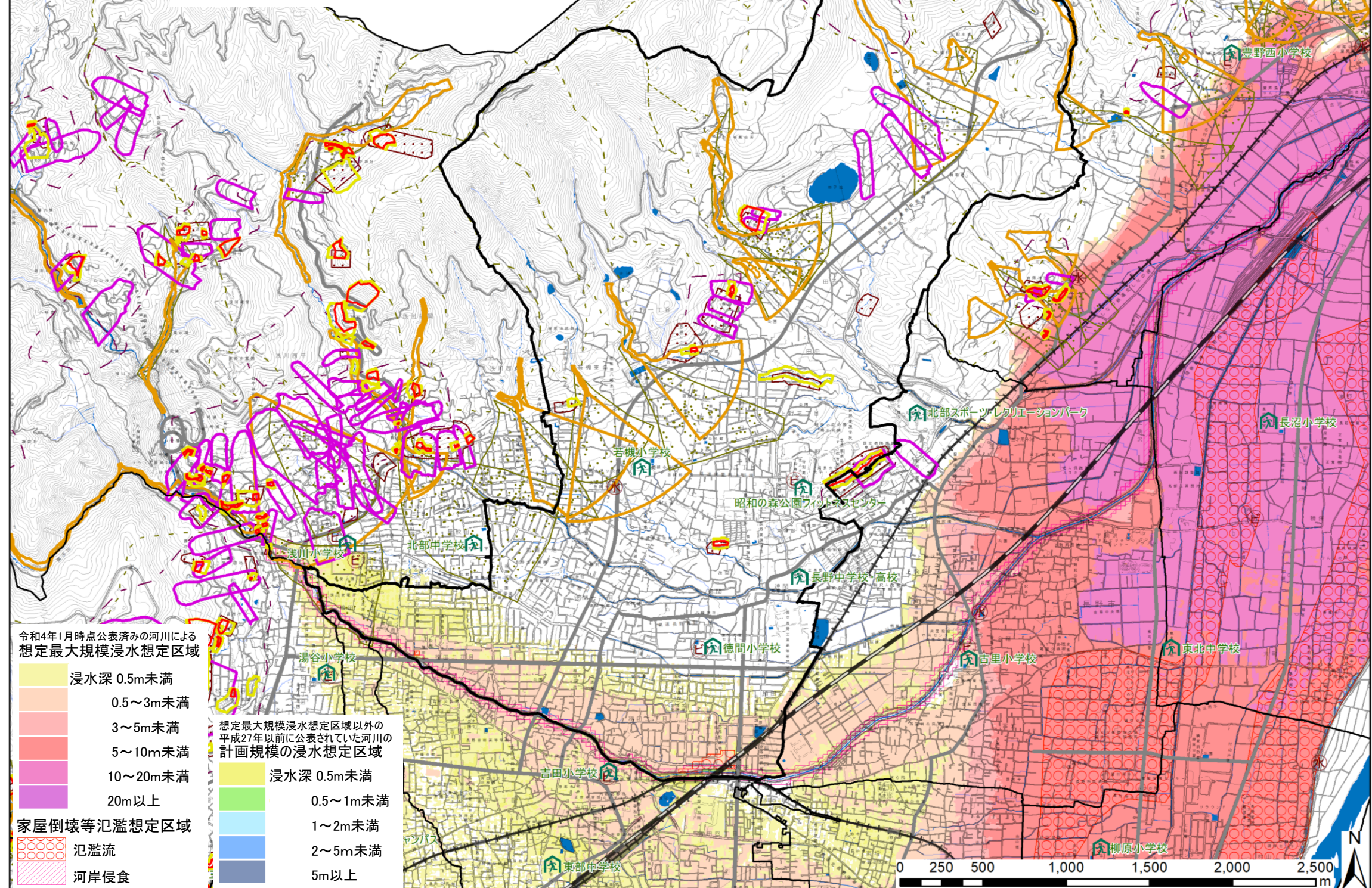
水防倉庫

新幹線

鉄道(新幹線以外)

緊急輸送道路

水面



令和4年1月時点公表済みの河川による
想定最大規模浸水想定区域

- 浸水深 0.5m未満
- 0.5～3m未満
- 3～5m未満
- 5～10m未満
- 10～20m未満
- 20m以上

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 氾濫流
- 河岸侵食

想定最大規模浸水想定区域以外の
平成27年以前に公表されていた河川の
計画規模の浸水想定区域

- 浸水深 0.5m未満
- 0.5～1m未満
- 1～2m未満
- 2～5m未満
- 5m以上

▼土砂災害警戒区域

土石流	9箇所
急傾斜地	7箇所
地すべり	3箇所

▼土砂災害特別警戒区域

土石流	8箇所
急傾斜地	5箇所
地すべり	—

▼土砂危険箇所(県建設部所管)

土石流	7箇所
急傾斜地	9箇所
地すべり	3箇所

▼浸水想定区域

想定最大規模	最大5.0m
県管理9河川[計画規模]	最大1.0m

▼孤立可能性のある集落

山千寺	
髻	

▼災害履歴

▼防災課題

北部を中心に土石流警戒区域、地すべり危険箇所が複数存在する。特に隈取川、田子川、深沢川、土京川、西条川沿いでは土石流発生の可能性があり、注意が必要である。

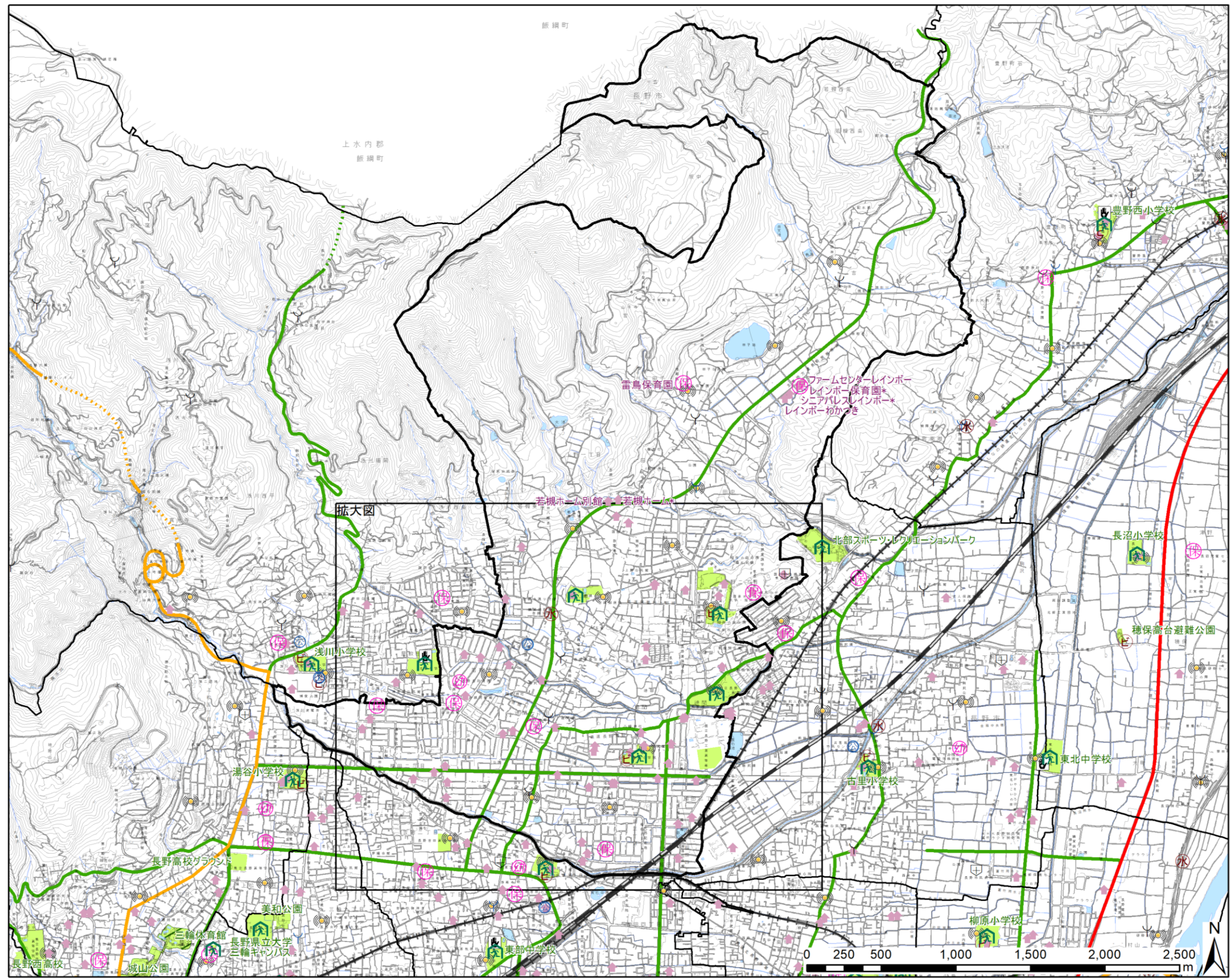
風水害により、山千寺、髻で孤立の可能性があり長期避難への対応が必要である。

南部で浅川のはん濫により最大5.0m程度の浸水が想定されており、安全な避難が課題である。

※ 最大規模浸水想定区域はおおよそ100年に1回の確率の最大規模降雨による浸水状況をシミュレーションで求めたもので、令和4年1月末公表済みの結果について全て重ね合わせたものです。その他の計画規模浸水想定区域は最大規模浸水想定区域にかからない中小河川においておおよそ100年に1回の確率の降雨による浸水の状況をシミュレーションで求めたものです。想定される浸水が実際と異なる場合があります。

防災関連施設位置図

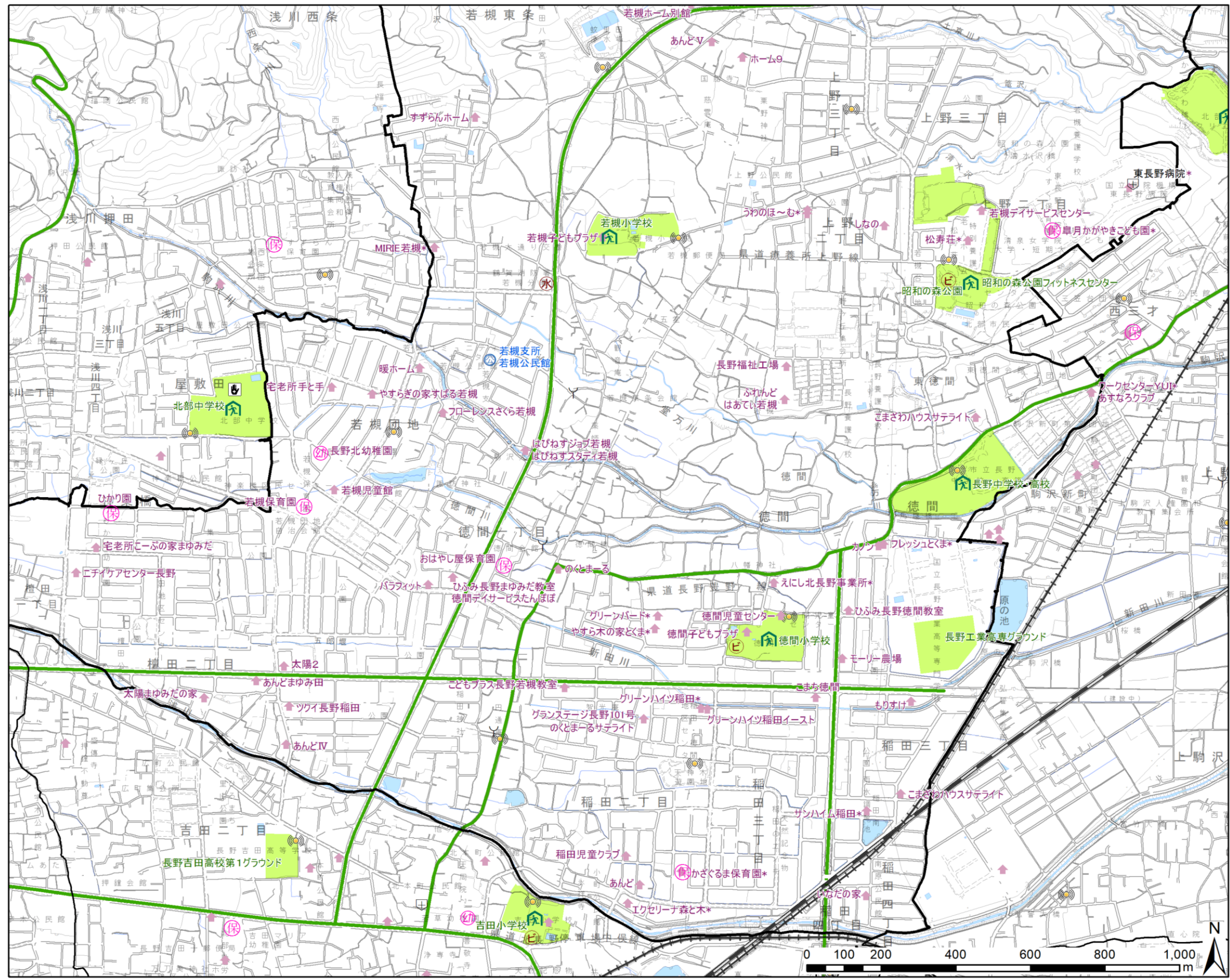
地区名 **若槻**



- 凡例
- 避難所
 - 避難場所
 - 広域避難場所
 - 防災関係機関 (国・県・市の役所等)
 - 公民館
 - 病院
 - 応急救護所設置施設
 - 消防団詰所
 - 消防団器具置場
 - 防災備蓄倉庫
 - 水防倉庫
 - 保育所施設 (保育園、認定こども園)
 - 幼稚園 (上記の保育所施設以外)
 - その他の要配慮者利用施設
[*]は複数の登録施設が存在
 - 防災行政無線
 - 水域
 - 緊急輸送道路(高速道路)
 - 緊急輸送道路(県一次)
 - 緊急輸送道路(県二次)
 - 緊急輸送道路(市)
 - 新幹線
 - 鉄道(新幹線以外)

防災関連施設位置図（拡大図）

地区名 **若槻**



- 凡例**
- 避難所
 - 避難場所
 - 広域避難場所
 - 防災関係機関 (国・県・市の役所等)
 - 公民館
 - 病院
 - 応急救護所設置施設
 - 消防団詰所
 - 消防団器具置場
 - 防災備蓄倉庫
 - 水防倉庫
 - 保育所施設 (保育園、認定こども園)
 - 幼稚園 (上記の保育所施設以外)
 - その他の要配慮者利用施設 (*は複数の登録施設が存在)
 - 防災行政無線
 - 水域
 - 緊急輸送道路(高速道路)
 - 緊急輸送道路(県一次)
 - 緊急輸送道路(県二次)
 - 緊急輸送道路(市)
 - 新幹線
 - 鉄道(新幹線以外)